

## 特別支援学校における「幼児・児童・生徒個人票」等の所在不明について

特別支援学校（川崎市立聾学校）において、書庫に保管していた「幼児・児童・生徒個人票」（該当者数50人）及び「教職員電話連絡網」（該当者数65人以上）の個人情報を記載した書類について、所在不明が判明しました。搜索を継続しているところですが、12月24日（火）現在、発見されておられませんので、御報告いたします。なお、現時点で個人情報の漏えいは確認されておられません。また、保護者への説明は実施しており、今後、再発防止に努めてまいります。

### 1 事案の経緯

- (1) 学校 名称等 川崎市立聾学校 校長 中野 理佳  
幼児児童生徒数 幼稚部9人、小学部15人、中学部13人、高等部5人 計42人  
所在地 川崎市中原区上小田中3-10-5
- (2) 所在不明の書類等  
ア 幼児・児童・生徒個人票（以下「個人票」という。）  
（ア）該当者数 50人  
内訳 幼稚部9人、小学部15人、中学部13人、高等部5人、卒業生6人、転出児童2人  
（イ）記載している個人情報  
幼児児童生徒の氏名及び生年月日、保護者氏名、現住所、家族氏名、緊急連絡先（氏名、電話番号又はFAX番号）、身体障害者手帳記載事項（番号、交付年月日、障害名、聴力、障害程度等級、鉄道旅客運賃減額種別）、通学経路、最寄り駅からの地図  
イ 教職員電話連絡網（以下「連絡網」という。）  
（ア）該当者数  
令和6年度分は、65人。令和5年度以前の連絡網も綴じられていたが、人数は不明  
（イ）記載している個人情報  
氏名、電話番号、メールアドレス  
ウ 保管場所  
個人票及び連絡網は、職員室内のダイヤル式の鍵の付いた書庫（以下「保管書庫」という。）に保管していた。
- (3) 経過  
12月 4日（水）教頭が教職員に連絡をするため、連絡網を使用した。  
11日（水）8時45分 中学部教諭が生徒の保護者に連絡するため、個人票を使用した。  
22時00分 高等部教諭が生徒の保護者に連絡するため、個人票を使用しようとしたが、保管書庫に見当たらなかった。  
12日（木）7時00分 同教諭から報告を受けた高等部主任が保管書庫に個人票が見当たらなかったことを教頭に報告した。  
8時30分 校長が朝の打合せで、出勤している全教職員に周知し、個人票を探すよう指示した。  
8時45分 業務職員が、ゴミ袋から個人票を綴じていたファイルの背表紙を、資源用ゴミ箱から当該ファイル及び綴じ具を発見した。  
8時50分 連絡網を綴じているファイルも所在不明であることが判明。校長が教育委員会事務局中原区・教育担当へ報告し、教育委員会事務局学校教育部も搜索に当たる。  
14時08分 教育委員会事務局中原区・教育担当が中原警察署に相談。警察官が来校し、現場確認、任意による教職員等の指紋採取等を行った。  
18時40分 教育委員会事務局中原区・教育担当から学校に対して、継続した搜索及び状況確認を指示した。  
21日（土）中原警察署へ個人票については被害届（窃盗）、連絡網については遺失届を提出  
24日（火）保護者会を開催

### 2 今後の対応

- (1) 変更した保管場所の鍵の貸出簿を作成し、学校管理職による管理を徹底いたします。併せて、現状の紙書類の電子化を進めます。  
(2) 校長会議で、全市立学校に対し、今回の事案の概要や原因と考えられる事項等を共有して、同様の事案が生じることのないよう、改めて再発防止に向けた個人情報を含む書類の厳正な管理を徹底いたします。  
(3) 引き続き、関係職員へのヒアリングや関係書類の搜索を継続いたします。